

【準特選】

くろくんと小さい白くん

古枝小学校 二年 一せ 日菜

わたしがこの本をえらんだりゆうは、本にかいてあるえがかわいかったからです。

この本は、白いクレヨンくんがじぶんのなかまをさがしに行くお話です。ほかの色のクレヨンくんたちもいっしょになかまさがしをてつだってくれました。さいごはなかまもみつかり、白いクレヨンくんは、かえっていきました。あるとき、おちこんだ白くんをはげまそうとほかのクレヨンくんが、大きくてまっ白いがようしをよいして、えをかこうとさそってくれました。でも白くんは、

「ぼくは、白だから白いがようしにかいても見えない

よ。」

ときみしそつにいいました。そこにくろくんが、

「ぼくのかいたくろいところに、すきなえをかいてらん。」

といって、白いえがうかびあがりました。すると、ほかのクレヨンたちも、くろくんのようにやってくれました。

くろくんたちが白くんのためにやってくれたことは、とってもやさしいことだとおもいました。もし、じぶんが白くんのようにこまっている人をみかけたら、くろくんのように声をかけてあげたいです。わたしたちもクレヨンみたいに、いろんなかたちや色があると思います。みんながってみんないいと思つので、いろんな人にやさしい声をかけられるくろいクレヨンになりたいと思いました。